

契約変更理由書

神戸市

工 事 名	西垂水第 2 高層配水場内管路更新工事
契約変更後の工事概要	
<ul style="list-style-type: none">・ 場内配管新設・布設替延長（鑄鉄管）：L=1232.0m・ 場内配管新設・布設替え延長（鋼管）：L=20.4m・ 場内管路管更生工延長：L=119.9m・ 場内整備工：一式	
契約変更の理由	
<p>① 近隣住民より工事の騒音を低減するよう要望があり、仮設防護柵を設置することとなった。</p> <p>② 管路の埋戻し材について、当初は発生土で埋め戻す設計となっていたが、発生土の粘性が高く埋め戻しに適さなかったため、再生砕石に変更し残土処分が増工となった。</p> <p>③ 配水管φ900について、当初設計では施工性を考慮して K 形での配管となっていたが、試掘及び現地配管状況を再度精査した結果、耐震性を考慮した NS 形で配管できることが判明したため管工が増工となった。</p> <p>④ 3 号池の越流管の管受台について、越流管の自重による配水池躯体への影響を再度検討した結果、管受台を設置する必要性が判明したため、受台設置工が増工となった。</p> <p>⑤ 1・2 号池入水管について、別途工事で設置予定であった流量計の種類が変更となったことにより、流量計取替時にφ500 バイパス管が必要であると判明したため、管設置工が増工となった。</p> <p>⑥ 3 号池内について工事のため水を抜き現地調査を行った結果、底版目地材料の劣化が激しく、新しい材料に取替える必要が生じたため、目地補修工が増工となった。</p> <p>⑦ 本工事で、配水池への入水系統が 2 系統となるが、今後の水運用を再検討した結果、2 系統の入水管を連絡する必要性が判明したため、入水連絡管の設置が増工となった。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	